

<p>研修名</p>	<p><b>専門課程 道路構造物（係長級）〔設計・施工コース〕 【集合】</b>  （昭和 36～平成 18 年度：「道路構造物設計」、平成 19～20 年度「道路構造物」、平成 21～22 年度：「道路構造物設計施工技術」）</p>					
<p>目的・重点事項</p>	<p>係長級職員が修得しておくべき道路構造物に関する知見（設計・施工・保全）のうち、特に道路構造物の計画・設計・施工に関する専門知識及び技術の修得を図ることを目的とする。  以下の点を重点項目とする。  ○道路構造物の耐久性、耐震性、新技術導入に係る留意事項や技術基準への適合性を考慮し、計画・設計の履行状況の調査など、施工の監督などを行うために必要な専門知識の修得  ※係長級職員の道路構造物に関わる研修は〔設計・施工コース〕と〔保全コース〕に分離して実施している。本研修受講者は、可能であれば（別年度になったとしても）〔保全コース〕も受講することが望ましい。</p>					
<p>対象者</p>	<p>国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、特別区、市町村、独立行政法人等の技術系職員で、道路に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者  ① 係長又はこれと同等の職にあると認められる者  ② ①の者と同程度以上の能力を有すると認められる者</p>					
<p>定員(人)</p>	<p>国土交通省</p>	<p>内閣府沖縄総合事務局</p>	<p>地方公共団体</p>	<p>独立行政法人等</p>	<p>団体</p>	<p>計</p>
	<p>20</p>	<p>1</p>	<p>25</p>	<p>4</p>		<p>50</p>
<p>研修期間</p>	<p><del>6.6.5</del> <b>6.9.0</b> 時間 12日間</p>			<p>令和5年11月 6日（月）～ 令和5年11月17日（金）</p>		
<p>カリキュラム内容 (予定時間)</p>	<p>1. 講義（44.5）  ① 道路構造物に関する行政上の最近の話題 等  ② 道路橋の技術基準体系、耐久性及び計画設計の留意事項、構造力学の基礎、鋼橋について、コンクリート橋について、下部構造及び道路橋の架橋条件（地盤）の調査 道路橋の耐震性について 等  ③ 鋼橋の架設と品質、コンクリート橋の製作・架設と品質 等  ④ 道路土工、舗装、トンネルについて 等  2. 課題研究（<del>13.0</del> <b>15.5</b>）  &lt;参考&gt;昨年度のテーマ等：  2つの課題について、班別に検討し、その成果を全体討議の場で発表し、講師等と意見交換を行う。  ① 技術提案に対する技術的課題等の検討  ② 与えられた設計条件及び架橋条件に対して橋梁の計画を行い、その設計概要書を作成  3. 現場実習（7.0）  &lt;参考&gt;昨年度：  横浜環状南線 栄 I C 工事現場、横浜湘南道路 横湘トンネル工事現場  4. その他（2.0）  入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス</p> <p style="text-align: right;">計 <del>66.5</del> <b>69.0</b></p>					
<p>前年度からの 主な変更点</p>	<p>・実施手法変更（ハイブリッド→集合）  ・研修期間変更（7月→11月）※〔設計・施工コース〕と〔保全コース〕の研修期間入れ替え</p>					
<p>担 当</p>	<p>建設部 環境安全技術研修官 （TEL:042-321-0645）</p>					
<p>備 考</p>	<p>テキスト代（予定）38,000円</p>					